

第 38 期

株 主 通 信

(2012年4月1日から2013年3月31日)

CONTENTS

決算ご説明 ————— P01

トップインタビュー ————— P03

コーポレートデータ ————— P05

MEIKO NEWS ————— 裏表紙

証券コード：6787

株式会社 メイコー

38th

MEIKO REPORT

当期決算(連結)のポイント

プラス要因

1. アジア向けのスマートフォン用ビルドアップ基板の増産

マイナス要因

1. 米国向けのスマートフォン用ビルドアップ基板の受注低迷

2. 日系テレビ市場における想定以上の縮小

3. 中国における不買運動による受注減、および労務費の上昇

電子回路基板別の売上構成

商品別では、自動車向け基板およびスマートフォンをはじめとする通信向け基板において販売が堅調に推移し、売上比率は前期と比較してそれぞれ39%から46%、10%から14%となりました。一方、薄型TV向け基板において、市場の縮小が想定以上に加速し、売上比率は13%から6%となりました。

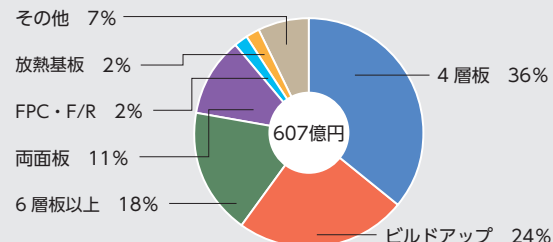
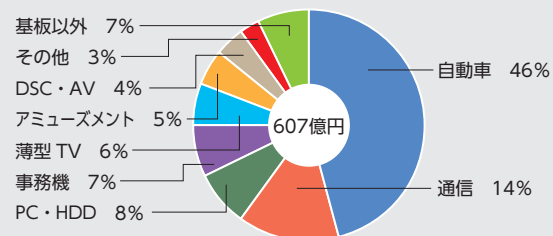
品目別では、主に通信向け基板の売上が増加したことにより、ビルドアップ基板の比率が増加しました。

商品別

	前期	当期
自動車	39%	46%
通信	10%	14%
PC・HDD	9%	8%
事務機	7%	7%
薄型TV	13%	6%
アミューズメント	3%	5%
DSC・AV	5%	4%
その他	2%	3%
基板以外	12%	7%

品目別

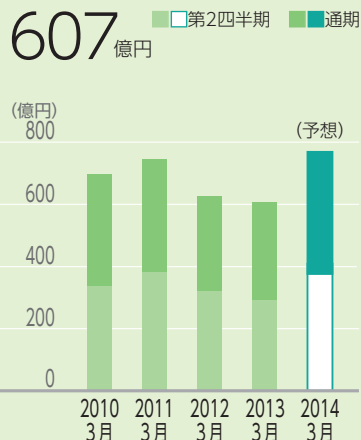
	前期	当期
4層板	38%	36%
ビルドアップ	17%	24%
6層板以上	16%	18%
両面板	14%	11%
FPC・F/R	1%	2%
放熱基板	2%	2%
その他	12%	7%



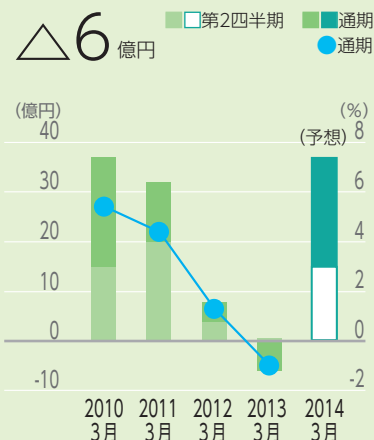
売上高/営業利益/当期(四半期)純損益

中国武漢第二工場において既存のお客様に加えて新規の海外のお客様の開拓を進めたほか、スマートフォン用基板の生産拠点であるベトナム工場の設備増強を進めましたが、エレクトロニクス業界の不振に加え、スマートフォン用基板の受注の遅れ、さらに中国における賃金の上昇等による労務費の増加などの結果、売上高・利益とも前期に比較して厳しい状況となりました。

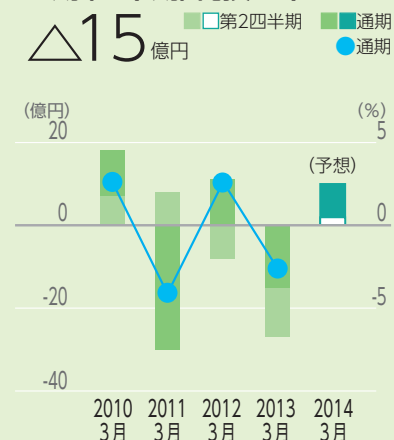
売上高



営業利益/営業利益率

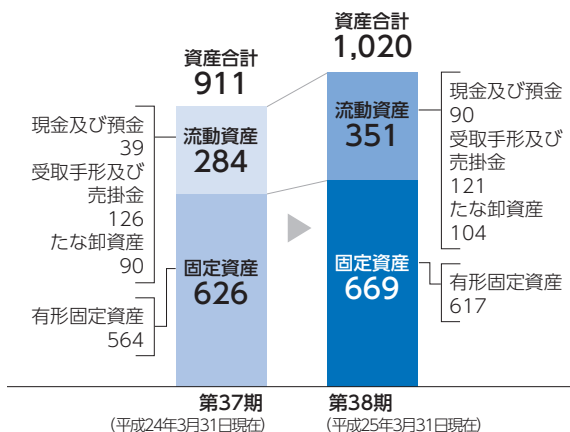


当期(四半期)純損益/当期(四半期)純損益率



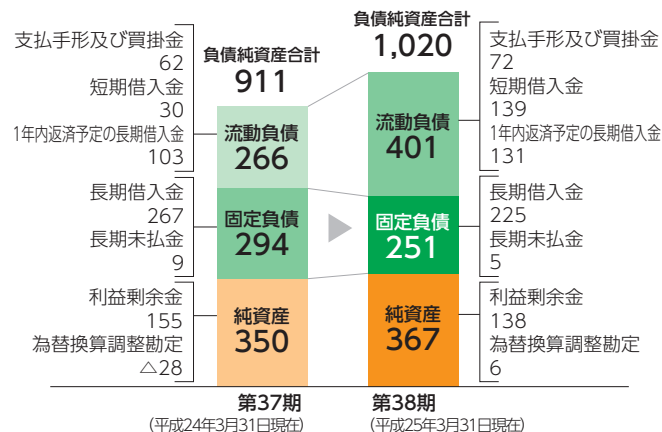
資産の部

(億円)



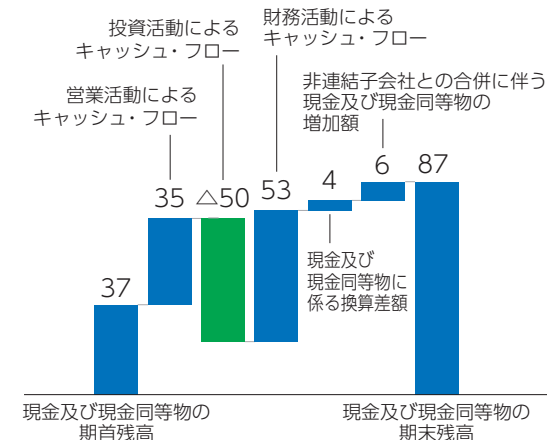
負債・純資産の部

(億円)



キャッシュ・フローの状況

(億円)



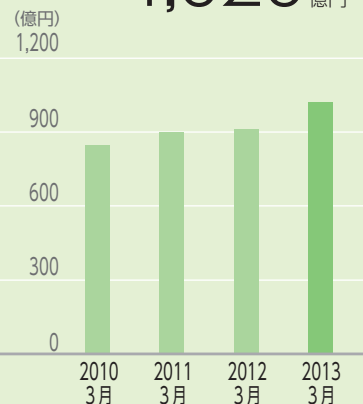
主な増減：流動資産において、現金及び預金が50億3千6百万円増加、受取手形及び売掛金が5億5百万円減少、たな卸資産が14億1千6百万円増加、固定資産において、有形固定資産が53億4千4百万円増加いたしました。

主な増減：負債の部では、流動負債において、支払手形及び買掛金が9億4千5百万円増加、短期借入金が108億7千3百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が27億3千9百万円増加、固定負債において、長期借入金が41億9千2百万円減少、長期未払金が3億9千7百万円減少いたしました。純資産の部では、利益剰余金が16億9千万円減少、為替換算調整勘定が34億4千2百万円増加いたしました。

主な増減：当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ50億3千6百万円増加し、87億8千8百万円となりました。

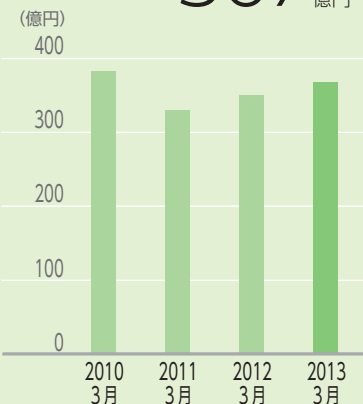
総資産

1,020 億円



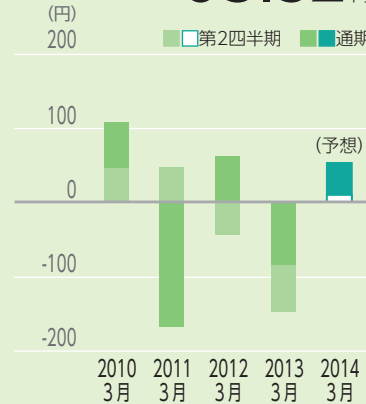
純資産

367 億円



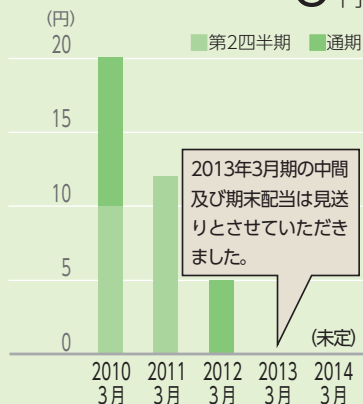
1株当たり当期(四半期)純損益

△83.52 円



1株当たり配当金

0 円





代表取締役社長

岩屋 浩一郎

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第38期(平成25年3月期)MEIKO REPORTをお届けするにあたり、インタビューにお答えする形で、当期の事業の状況と今後の経営戦略についてご説明いたします。

メイコーグループの経営理念

顧客に最高の価値とサービスを提供し社会に貢献する

最高への挑戦

企業の価値を高め社員と社会に幸福を



当期(平成25年3月期)における事業環境と経営成績についてお聞かせください。



景気回復への期待感があるも、未だ経済は不透明な状況

当期における世界経済は、欧州における財政金融危機の根本的な解決が図れず、停滞傾向から脱却できない状況が続いています。また米国においても、生産・雇用状況は回復しつつあるものの、実質賃金の伸び悩みや失業率の高止まり等により先行きが不透明な状況となっています。中国をはじめとするアジア経済も、輸出減や設備投資の伸び悩み等から、経済成長のペースが鈍化しています。一方、国内の経済は、世界経済の減速の影響を受け、前半は総じて弱含みで推移しましたが、後半になって政権交代による景気回復に向けた様々な対策への期待感もあり、為替も円安傾向となって、株価の回復も

見られます。しかしながら、国内外の経済情勢は引き続き流動的で、見極めが難しい環境下にあると考えています。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、世界的な自動車需要の回復やエコカーへの関心の高まりを背景に堅調な拡大を続けていますが、エレクトロニクス業界では、パソコン関連機器の需要減や国際競争の激化によるテレビ事業の縮小等により国内各社は引き続き厳しい状況にあります。このような状況のもと当社グループでは、先端基板の生産拠点である中国武漢第二工場で、既存のお客様に加えて新規の海外のお客様の開拓を進めたほか、携帯・スマートフォン用基板の生産拠点として本格稼働を開始しているベトナム工場の設備増強をさらに進めています。しかしながら、業績については、車載関連の受注減やエレクトロニクス業界の不振に加え、スマートフォン向け基板の受注の遅れ、中国における賃金の上昇に伴う労務費の増加等の結果、売上高、利益とも前年度に比較して厳しい状況となりました。以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高607億9百万円(前年同期比3.6%減)、営業損失6億5百万円(前年同期は営業利益8億1千2百万円)、経常損失3億8千6百万円(前年同期は経常利益2億2千2百万円)、当期純損失15億6千7百万円(前年同期は当期純利益11億5千8百万円)となりました。

Q2 今後の海外事業展開について お聞かせください。

A 武漢のスマートフォン向け基板の生産 を拡大しベトナム工場も大規模拠点へ

海外の生産拠点においては、今後も堅調な拡大が予想される自動車市場に向けて、中国広州工場に加え中国武漢第一工場でも車載用基板の生産を開始し、積極的に海外の自動車メーカーのお客様を増やしていきます。また、スマートフォンは今後も進化しながら市場の拡大が予想され、基板の部品需要の増加が期待されるため、これに向けた生産体制の強化を進めます。中国武漢第二工場は、これまで米国のお客様を中心にスマートフォン向け基板を生産していましたが、今後は中国をはじめとする新興のお客様への販路拡大を本格化していきます。また、本格稼働を開始したベトナム工場も、現在はベトナムにスマートフォンの生産拠点があるお客様を中心にビルドアップ基板を供給していますが、今後はアジア

次期の見通し(連結)

売上高	770億円
営業利益	37億円
経常利益	27億円
当期純利益	10億円

アや欧州等に向けてスマートフォンのみならず、車載や様々な基板を生産する大規模生産拠点にしていく計画です。

Q3 国内の生産体制について お聞かせください。

A 最先端基板の生産拠点として設備を 一新した石巻工場が2年ぶりに再開

国内の生産体制については、新規開拓や高付加価値基板の市場の投入を積極化します。まず、東日本大震災で被災した石巻工場(注)、については、先端技術を用いた新工法フレキシブル基板や新工法厚銅基板などのパイロットプラントとしての機能のほか、部品内蔵基板やモジュール基板の試作開発を中心とした量産工場としての機能も持ち合わせた戦略拠点として、本年5月より稼働を再開いたしました。また福島工場については、事務機、アミューズメント向け基板を中心とした量産工場として、市況を鑑み震災以前の生産規模に復活する時期を見定めてまいります。山形工場は、生産の約90%が自動車向けの高信頼性基板となっています。また、神奈川工場はエニージェイヤー基板や部品内蔵基板などのハイエンド製品からスルーホール基板などのミドル・ローエンド製品まで、少量多品種の生産をおこなっています。

さらに、神奈川にある研究開発センターでは、材料や要素技術のレベルから信頼性や品質、コスト、生産技術などの優位性を確立し、将来に向けた全社の技術力の向

上を目指した研究活動をおこなっています。

(注) 2013年5月に、「宮城工場」より名称変更いたしました。

Q4 株主の皆様へメッセージを お願いします。

A 内部留保の充実と株主の 皆様への利益還元に注力

当社は、株主の皆様に対する利益向上を経営の重要課題の一つとし、利益配分につきましては経営成績等を総合的に勘案し安定的な配当の維持に努めます。内部留保につきましては、将来にわたる株主の皆様への利益を確保するため、経営基盤をより一層強化、充実するための投資に充当し、今後の事業展開に役立てることを基本方針としております。

当期の剰余金の配当につきましては、連結業績の経営成績等に鑑み、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。経営環境が厳しさを増す中、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、業績および企業価値向上に努めてまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商号	株式会社メイコー
設立	1975年11月25日
本店所在地	神奈川県綾瀬市大上5-14-15
資本金	105億4,563万円
従業員数	9,966名(連結) (国内807名) (海外9,159名)
主な事業内容	電子回路基板の設計・製造・販売 電子機器の開発・製造・販売

役員 (平成25年6月26日現在)

代表取締役社長執行役員	名屋 佑一郎
取締役専務執行役員	名屋 精一
取締役専務執行役員	平山 隆英
取締役専務執行役員	篠崎 政邦
取締役常務執行役員	鈴木 哲郎
取締役	名屋 晴行
取締役	佐藤 国彦
常勤監査役	伊豫本 齊
監査役	月井 啓之
監査役	越村 安信

関連会社

株式会社山形メイコー	電子回路基板の製造
株式会社エム・ディー・システムズ	電子回路基板の設計
株式会社メイコーテック	電子回路基板の販売 映像機器・産業機器の製造および販売
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子回路基板の製造
名幸電子(武漢)有限公司	電子回路基板の製造
名幸電子香港有限公司	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子回路基板の製造、EMS
MDS Circuit Technology, Inc.	電子回路基板の設計
Meiko Electronics America, Inc.	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Europe GmbH	電子回路基板の販売

拠点一覧

工場			
神奈川工場	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-6007
福島工場	〒979-0401	福島県双葉郡広野町大字上北迫字岩沢1-2	0240-27-3970
石巻工場	〒986-0844	宮城県石巻市重吉町8-5	0225-98-8769
山形工場	〒999-3511	山形県西村山郡河北町谷地字真木250	0237-73-4515
メイコー研究開発センター	〒243-0414	神奈川県海老名市杉久保南3-35-6	046-238-5985
大和テクノロジーセンター	〒242-0023	神奈川県大和市渋谷1-2-1	046-279-5217
中国広州工場		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84980000
中国武漢工場		中国・湖北省武漢市経済技術開発区神龍大道9号	+86-27-84890000
ベトナム工場		Lot LD4,Thach That -Quoc Oai Industrial Zone., Hanoi	+84-4-3368-9888
販売拠点			
基板第一営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-6003
基板第二営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-6002
基板第三営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-9004
EMS部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-76-9005
国際営業部	〒252-1104	神奈川県綾瀬市大上5-14-15	0467-70-4486
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内3-18-1三晃丸の内ビル6F	052-950-2055
大阪営業所	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島7-5-25新大阪ドビル10F	06-4806-7760
大宮営業所	〒330-0845	埼玉県さいたま市大宮区仲町1-124-2OZビル2F	048-782-7901
海老名事業所	〒243-0434	神奈川県海老名市上郷1012	046-292-3151
営業統括本部(中国広州)		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84985675
国際営業部(中国広州)		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84985675
亜洲営業部(中国広州)		中国・広東省広州市南沙経済技術開発区西部工業区広生路2号	+86-20-84985675
上海営業所		上海市長寧区宣化路300号華寧国際南塔22階2201室	+86-21-32528001
天津営業所		中国天津河西区南京路20号金皇大厦3502	+86-22-58181900
台湾支店		台湾桃園市経国路15号8F-3	+886-3-357-3556
名幸電子香港有限公司		香港新界葵涌興芳道223号新都会広場第二期21字楼2107A室	+852-21-918590
メイコーアメリカ		5050 El Camino Real Suite 108, Los Altos, CA 94022	+1-650-336-1400
メイコーヨーロッパ		Frankfurter Ring 193a 80807 München	+49-89-3272-949-0
メイコーテック大阪本部	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島7-5-25新大阪ドビル2F	06-4806-7761
メイコーテック横浜支部	〒222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜3-23-3新横浜AKビル7F	045-548-8061

株式情報

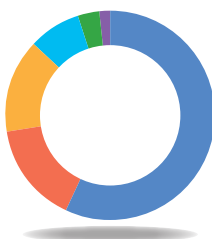
発行可能株式総数	63,200,000 株
発行済株式の総数	18,774,076 株 (自己株式 629,244株を除く)
株主数	5,976名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,697	25.0
PLEASANT VALLEY	631	3.4
名幸興産株式会社	608	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	552	2.9
有限会社ユーホー	521	2.8
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	519	2.8
名屋 晴行	488	2.6
名屋 精一	439	2.3
HILLCREST, L. P.	379	2.0
株式会社三井住友銀行	377	2.0

※当社は、自己株式 629,244 株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



個人・その他	57.1%
金融機関	15.4%
外国法人等	14.6%
その他の法人	8.1%
自己名義	3.2%
金融商品取引業者	1.6%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL:
<http://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml>

上場証券取引所 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関するお届出およびご照会について】

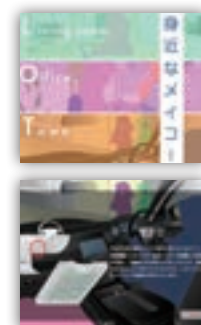
証券会社に口座を開設されている株主様のご住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

ホームページのご案内



TOPページ



製品紹介(身近なメイコー)



CSR報告書

当社ホームページでは最新のIR情報ニュースリリースの他、製品紹介やCSR情報もご覧いただけます。
当社ホームページもご活用ください。

メイコー 検索

<http://www.meiko-elec.com/>

メイコーの今をお伝えします

MEIKO NEWS

TOPICS

「石巻工場」再稼働について

このたび、東日本大震災による津波の影響で操業を停止していた宮城工場の復旧工事が完了し、「石巻工場」と名称を変更して2013年5月20日より稼働を再開いたしました。

本工場は、当社における最新鋭の工場として、新工法による新しい基板のパイロットプラントのほか、薄型モジュール基板や部品内蔵基板等の先端基板の試作および生産をおこなう計画です。従業員数については、再稼働当初は約30名でスタートし、今後の需要と事業の状況を鑑み設備増強とともに人員も増員していく予定です。

メイコーグループでは中国やベトナムなど国内外を合わせて7工場がありますが、その中において石巻工場はグローバルスタンダード製品に向けた最先端の生産拠点として、今後もさらなる開発・生産体制の整備を進めてまいります。



石巻工場概要

コンセプト	新技術のパイロットプラントおよび先端基板の生産拠点
操業開始	2004年12月(操業再開2013年5月)
従業員数	当初30名(震災前:390名) 事業の状況を鑑み順次増員
生産品目	新工法フレキシブル基板、新工法厚銅基板、 モジュール基板、部品内蔵基板

メイコーのCSR

CSRをすべての事業活動の中核をなすものとして認識し、おののの地域で信頼される企業を目指して活動をおこなっております。

海外工場における環境アセスメントの取り組み

メイコーの環境アセスメント

環境アセスメントの取り組みに当たっては、工場の稼働により発生する排気、排水、騒音、廃棄物などが周辺環境に与える影響を予測するとともに、環境保護施設を建設して適正な処理を導入し、自然環境と人間活動の調和のとれた社会のあり方を実現することを基本方針としています。環境リスクを最小限に抑えるために、排気・排水の汚染物濃度・総量や騒音値等の周辺環境に与える影響を、公的規制を数段階上回る厳格な社内基準で管理しています。海外工場においては、エネルギーや化学薬品を多量に使用するめっき事業に対して、特に厳しい環境影響評価が実施されます。

名幸電子(武漢)有限公司の取り組み

名幸電子(武漢)有限公司(以下、武漢工場といいます)では、2007年1月に第一工場が、2011年12月に第二工場が武漢市環保局より環境アセスメントの認証を取得しました。

武漢工場では、地球温暖化防止活動の一環として設備の効率的な稼働によりCO₂の排出量を大幅に削減し、さらなる省エネルギー化に取り組んでまいりました。これを受けて、2012年12月に湖北省国家発展・改革委員会より武漢市唯一の省エネルギーモデル企業に選定されたほか、2013年3月には排水汚染防止のオンライン観測システムの導入により、湖北省環境保護観測モデル事業に選定されました。



排水オンライン計測室



武漢

名幸電子(武漢)有限公司

操業開始:2006年

スマートフォン用のエニーレイヤー基板をはじめとする最先端のHDI基板のほか、車載用の高信頼性基板など、市場の変化に応じた戦略工場として生産しています。

名幸電子(広州南沙)有限公司

操業開始:2001年

メイコーの初の海外生産拠点で、車載用基板を中心にHDI基板などのハイエンド製品まで幅広く対応しています。



広州

ハノイ



Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.

操業開始:2011年(EMSは2009年より開始)

メイコーの海外3番目の大規模生産拠点で、携帯電話向けのHDI基板を中心に、グループ最大規模かつ最新鋭の生産拠点となる予定です。



株式会社メイコー

本社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15
TEL: 0467 (76) 6001 (大代表)

ホームページ <http://www.meiko-elec.com/>

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見通しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報および当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、様々な要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。